

「みどりの保育園」推進事業第二弾

「チョッキン草刈隊」大活躍

台風5号の襲来で雨天が心配された6月3日(火)、参加者の祈りが天に届いたのか曇り空で暑くもなく絶好の作業日和になりました。

作業現場となった酒田市の宮海国有林の松原ライン沿いには、西荒瀬保育園の年長組38名と保護者33名が参加して、平成19年に植栽したクロマツの下刈作業を行いました。

下刈作業の指導には、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター員5名と西荒瀬保育園職員6名、活動支援として山形県庄内支庁森林整備課職員が2名、地元酒田市農林水産課職員1名が参加し、総勢85名の参加者で10時から開会式が始まりました。

紙芝居を使って保育園児に森林整備(下刈り作業)の必要性を説明してから、ハサミを使った刈り作業を実演し、怪我をしないように注意を喚起しました。

下刈作業は2回に分けて実行しました。最初は保育園児と一緒にハサミによるクロマツ周辺の刈り払い作業と、保護者による鎌作業での残った部分の刈り払い作業です。

約1時間の作業で草の中に埋もれて見えなかったクロマツが現れると、保育園児達も声を上げて喜んでいました。

今回の参加の保護者は母親が多数をしめていましたが、保育園児と一緒に森林整備に汗を流した結果、森林を維持する大切さや大変な作業が伴うことを体験できたと好評を博しました。

作業終了後は、近くのクロマツ林内でネイチャーゲームを楽しみ、今回の「チョッキン草刈隊」は終了しました。

9月には、「みどりの保育園」推進事業第三弾「クロマツ探検隊」庄内海岸林とそれを守る森林ボランティア団体をテーマに、宮海地区の海岸林の観察会や光ヶ丘で実施している森林整備箇所の活用事例を見学することとしています。

